

開講科目名	社会科学のフロンティア		
担当教員	豊谷 整克	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

社会科学におけるもっとも先端的な研究分野や、今日の社会でもっとも重要とされる諸問題を、それぞれ法学、経済学、経営学および国際協力の観点から学び、社会科学への関心と理解を深める。

授業の概要と計画

社会科学系の5つの部局（法学部・経済学部・経営学部・国際協力研究科・経済経営研究所）の教員によるオムニバス形式の授業である。その内容は、次のとおり。

第1回	10月6日	<法>安藤馨「法学と政治学の哲学的問題：集合的主体は実在するか？」
第2回	10月13日	<法>前田健「知的財産と法」
第3回	10月20日	<法>飯田秀総「コーポレートガバナンスと法」
第4回	10月27日	<経済>加藤政仁「企業金融の現状と問題」
第5回	11月10日	<経済>清水崇「貨幣とは何か」
第6回	11月17日	<経済>豊谷整克「制度設計・市場設計のご利益」
第7回	11月24日	<研究所>後藤啓「貿易の自由化は皆に利益をもたらすか？」
第8回	12月1日	<研究所>後藤啓「地域統合と人口集中」
第9回	12月8日	<経営>中村絵理「企業の『無駄』は本当に無駄なのか？」
第10回	12月15日	<経営>三古展弘「交通を科学的に分析する」
第11回	12月22日	<経営>松尾貴巳「非営利組織の業績管理」
第12回	1月12日	<国際協力>斉藤善久「ベトナム：経済発展から取り残される人々」
第13回	1月19日	<国際協力>斉藤善久「開発途上国の労働力輸出と搾取の現状」
第14回	1月26日	期末試験

成績評価と基準

学期末に筆記試験で評価する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

予習事項は、適宜、授業を行う教員が伝える。また、授業後は、担当教員が紹介した参考文献を読んで、社会科学への関心と理解をさらに深めてほしい。

オフィスアワー・連絡先

オムニバス講義のため、特に設定しない。

学生へのメッセージ

神戸大学法学部、経済学部、経営学部、国際協力研究科、経済経営研究所は、わが国における社会科学の研究の中核拠点として、輝かしい成果を挙げてきた。本講義は、その5部局の教員によるオムニバス形式で、全ての学部の学生を対象に、社会科学が何を目指し、どのように重要な社会問題に迫るかを伝えるものである。

今年度の工夫

社会科学系以外の学部にも所属する学生に対しても、講義の内容が理解できるように努める。

教科書

使用しない。

参考書・参考資料等

参考文献はそれぞれの回の担当教員が紹介する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

社会科学 法学 経済学 経営学 国際協力